

事業継承の支援を行っている

答 本町に限らず地方の商店街はインターネットの利用による消費動向の変化などにより、買い物客が少なくなっている状況である。

商工会ではプレミアム商品券事業や、うまいもん発見市場、S.L.のお客様への案内・送迎事業を実施した。観光協会では駅前バスターミナルで観光案内、土日も含め特産品の販売、観光情報発信をし、駅前商店街の賑わいづくりに取り組んでいる。

令和7年度にGOGOチャレンジ支援事業を見直し、地域活性化や魅力・認知度向上及び付加価値向上の取組の支援を行っている。また事業継承サービスの協定を締結し、駅前通りの空き店舗等の利活用の検討・誘致に取り組んでいく。

予算審査特別委員会
総括質疑

本多 耕平 議員

問 令和2年に社会教育委員の会により、人口減少やランニングコスト、利用状況等からスポーツ施設等、将来的な統廃合の必要を認識した建議書が提出されている。すみやかに検討すべきと考えるがいかがか。

答 社会教育委員の会による建議書の提出を受け、利用状況を見ながら、町内全体の在り方について、教育委員会内で検討している。

問 令和2年に社会教育委員の会により、人口減少やランニングコスト、利用状況等からスポーツ施設等、将来的な統廃合の必要を認識した建議書が提出されている。すみやかに検討すべきと考えるがいかがか。

答 社会教育委員の会による建議書の提出を受け、利用状況を見ながら、町内全体の在り方について、教育委員会内で検討している。

問 磯分内プールの実態調査を早急に実施し、使用の可否の結論を早急に出すべきと考えるがいかがか。

答 磯分内を含む町内全体で、最終的には標茶市街地一か所に集約する方向として磯分内プールを閉館していく。磯分内プールを利用していている学校や団体等を確認して、受入れ状況や輸送等を再確認し、進めていきたい。地域の方に早急に結論を出して説明に伺いたい。

問 今後閉館したいと考える

答 磯分内を含む町内全体で、最終的には標茶市街地一か所に集約する方向として磯分内プールを閉館していく。磯分内プールを利用していている学校や団体等を確認して、受入れ状況や輸送等を再確認し、進めていきたい。地域の方に早急に結論を出して説明に伺いたい。



磯分内プール

問 社会教育事業の実態を問う

答 人づくり、町づくりの源は社会教育事業にあると確信している。人口減少や高齢化が進んでいる中、さらなる地域活動と公民館事業をどのように結びつけて行くか伺う。

問 ガイドラインづくりを説明する機会を設ける

答 団体補助の在り方について、ガイドラインをつくり、今後議会にも説明する。また、補助制度の理念に沿ったものであるかを再検討し、これまでの視点だけではなく、新たな視点を持ち、もつ一度精査する。

松下 哲也 議員

問 S.L.運行日を活用した取組を行うべきでは

答 1月17日から始まり、3月15日の最終日まで、計31回S.L.冬の温泉号が運行された。本年度も多数の観光客が標茶の駅に降り立って頂いた。約1時間半の滞在時間の中で商工会をはじめ、観光協会、アテナショップ、高校生のボランティアの方々がおもてなしの活動をしている事に敬意を表す。

S.L.運行期間中の本町における経済効果をどのように把握しているか。また標茶中学校の販売体験学習が行われ、教育的な活用など、多くの取組みができると思われるがどうか。また、歓迎のぼり等を制作する事を検討すべきではないか。

今後特色を生かした活動を考えていく



駅前うまいもん発見市場

答 経済波及効果については算出していないが、飲食代、お土産の購入費などの直接効果については、4200万円程度と認識している。中学校の体験学習は、教育活動の一環として標茶の良さや魅力を観光客等に伝えるコミュニケーション能力を高める取組を4日間しており、今後も学校の特色を生かした取組を教育委員会と考えていく。また、歓迎の横断幕等についても、関係団体等と意見交換しながら進めていく。

路線バス運行適正化の構想は

問 町内6路線で運行されている路線バスの昼の便が11月からデマンド化に向けて試験的に運行していくことであったが、その後の状況はどうか。

執行方針にも述べられているが、地域住民と連携を図り、運行方法や車輛規模の適正化に取り組みとある。今の段階でどの様な構想を持っているか伺う。

補助事業を生かした実証運行を目指す

答 デマンド化については、現在運輸支局と協議中ではあるが、交通空白解消のための補助事業を計画しており、事業決定が6月予定となっていることから、7月以降にデマンドの実証運行する予定で、現在地域公共交通計画を策定中である。町営バス、スクールバス様々な路線の効率化と利便性向上に向けた計画を補助事業の調査を活用し

ながら今後進めていく。

監査講評の内容は

問 今年度も非常に厳しい財政状況の中での予算編成である。昨年より町議会とも検討を重ねているが、2月10日に行われた監査講評の内容はどうか伺う。

4点の指摘を受けた

答 大きな項目として4点の講評を受けている。「滞納繰越金の圧縮」、「組織運営上の時間外勤務」、「ときわパークゴルフ場の使用料」について指摘があり、「町の財政・行政の適正な執行」については特に大きな問題はなかったとの報告を受けている。



深見 迪 議員

町政執行方針に主要な施策が書かれていないのはなぜか

問 今年度の町政執行方針が、今まで主要な施策が初めの方にあったのが記述されず、すぐに施策の概要から入っているがなぜか。

文章の構成を変更した

答 行政に最優先で取り組むという事を強く訴えて頂いたという事で、構成を変えた。

小中学校の書道展が廃止されるのはなぜか

問 町長は「公民館の事業そのものがまちづくりに」と答弁しているが、財政がひっ迫している中で、我々が知らないうちに色々な事業が切られているということを知っている。例えば、毎年行われている小中学校の書道展なども

廃止するといつ話を聞いた。それは本当か。子どもたちの文化が切り捨てられることにならないか。廃止の根拠は何か。残すべきではないか。

現場の声を聴き判断した

答 町民憲章を啓発する機会ではあるが、学校現場での一定の役割を果たしたのではないかと考え、教頭会、校長会、現場の声も聴き、最終的に判断した。



財政難を理由に保育所や学校で働く支援員の処遇改善に影響させるべきではない

問 会計年度任用職員の保育士と特別支援学級の支援員の処遇について聞く。パートタイムのシフトで働く時間数が減らされた職

員はいるか。暮らしている人による。暮らしている人による。暮らしている人はいるか。いるとしたらそれは町の損失になる。

支援員のほうだが、役場の職員であるが、非常に教育のことについて勉強している。支援員は休憩時間に教職員との打ち合わせや一日の児童生徒の様子を話し合っている。支援員の処遇を改善すべきではない。

業務を明確にし、本来的な仕事とし区分する事と判断した

答 保育士の部分で、フルタイムからパートタイムに切り替わった者はいない。

各園で状況を見ながら判断されるものと考え。今回の機会に業務を明確にし、本来的な仕事として区分けをしていかなければと判断した。

鴻池 智子 議員

物品を有効活用すべき

問 財政が厳しい状況を改善するために他の自治体の備品をネット通販やオークションで販売し、収入増加に繋げる取り組みを、積極的に行うべきではないか。

利活用のないものは財産処分が妥当

答 学校備品については学校の希望調査をしたうえで、利活用のないものは財産処分が妥当と考える。

ネットを利用した販売実績は無いが、他の自治体を参考にしていく。また、滞納対策の一環で公売の実績もあるので、今後町不用品の処分も検討し、財政に寄与していきたい。

移動期日前投票所の拡大をすべき

問 移動が厳しい高齢者の方より、移動期日前投票所の拡大を希望する声がある。柔軟に対応すべきではないか。

投票所の統廃合に併じて導入していく

答 投票所の統廃合に伴って、元投票所に移動期日前投票所を導入した経緯がある。

今年の衆議院選挙では16か所の投票所と5か所の移動期日前投票所という形に対応している。今後、移動期日前投票所は5か所から7か所になる予定である。



齊藤 昇一 議員

子育て支援の「段階的実施」への見直しを

問 医療費の21歳まで完全無料化を、「義務教育までを完全維持」、「高校・大学世代は所得制限付き又は一部自己負担導入」とする段階的設計に見直すことは検討できないか。

実質負担は55万円

答 平成31年度から実施している医療費無償化であるが、令和6年度の推計では180万円が無償化されている。

財源は過疎対策の交付税を利用しており、180万円のうち実質負担は55万円で、一般財源で対応している。他項目で利用するには額として難しい。

保育料と給食費無料化の一部応能負担の導入を

問 完全無料化ではなく、「第2子以降無料」、「低

所得世帯完全無料」、「それ以外は一部負担」という方式に修正することで、支援を必要とする層へ重点化することが可能ではないか。そうして、かき集めた財源をもとに、公共事業の急激な削減の緩和は可能となるのではないか。

保護者への説明が必要

答 保育料は国の政策で無償化されており、未幼児分は地方消費税交付金で充当されている。

給食費無償化は小・中学校合わせると3000万円ほどの事業費となる。国庫補助金で実質1500万円となり、ふるさと納税で対応している。寄付者の意向もあるので、公共事業への振り分けはできない状況である。



類瀬 光信 議員

正しい情報で職員確保を

問 合同企業説明会に標茶町が参加することについて町民からの問い合わせがあった。合同企業説明会の新聞広告では、本町職員の初任給が、他の自治体に比べて低く掲載されているという。町民からは、本町職員の給料が他の町よりも低いのは意外だと指摘されたが、実際に本町の職員給与は他の自治体よりも低いのか。掲載内容は、令和7年度実績とされているが、人事院勧告に基づく給与改定が反映されていないのではないか。

効果を発揮するよう注意する

答 合同企業説明会の新聞広告について、事務的なミスにより、令和元年度の給与改定前の資料を提出してしまった。内容の訂正について、取り扱っている広告代理店に確認する。

職員募集の広報の機会はまだ多くない中で確実に効果を発揮するよう注意する。

職員募集の広報の機会はまだ多くない中で確実に効果を発揮するよう注意する。

羊肉生産の方向性について

問

ふるさと納税返礼品として人気の羊肉は、道内各地で増産が進んでいることを踏まえ、本町の方向性を提案したい。

まず、雑種強勢と肉質向上のため、乳用種と肉用種の交雑種を生産してはどうか。

次に、健康志向の高まりをつけて、グラスフェッドに拘ってはどうか。さらに、唯一無二の羊の飼料として、メタンガスの発生を抑制する牧草を育ててはどうか。また、現在、廃用牛のブランド化が進められているが、対象を羊とすべきではないか。

ふるさと納税の返礼品開発を

答

現状の返礼品でもまだまだ伸びる要素はあるが、魅力的な返礼品を新たに開発することは簡単ではなく、時間がかかる。SNSを活用したり、中間事業者と協力しながら弱いところを伸ばして納税額を増やしたい。



多和展望台の羊

議案第19号 令和8年度一般会計予算案 討論

反対討論

黒沼 俊幸 議員

私は令和8年度一般会計予算に反対の立場で討論します。今回の一般会計予算書の中で歳入における寄付金の所でふるさと納税の説明が不十分であり、歳入不足を補うための数字合わせと受け止めざるを得ません。予算書の中で各種基金を取り崩しており、町民に不安を与えています。また、不誠実な説明に終始しております。よって反対討論とします。

賛成討論

齊藤 昇一 議員

私は、本予算案に対し、極めて重たい思いをもって討論をいたします。

本来、議会における予算審議とは、単に一年間の数字を決める作業ではありません。それは、この町がこれか

らどこへ向かうのかという「方向」を決める、最も重い政治判断であります。

いま本町は、財政の重圧の中にあります。これは、誰か一人の問題ではなく、町政そのものの構造的課題であることは、今まで申し上げてきました。先ほど総括質疑で伺ったところでもあります。

その中で、この町の産業基盤を強くし、雇用を拡大させ行政内部の士気を高める政策をどのような責任のもとで決断するのか。

しかしながら、どれほど理念が立派であっても、持続できない政策は、やがて町民を失望させることになりま

す。行政において最も避けるべきことは、耳あたりの良い言葉で将来世代に負担を先送りすることでありま

す。この先、未来・将来において、「なぜあのとき議会は何も言わなかったのか」とつ問われる議会であって

はならないと、私は強く思うのであります。

議会は、行政の追認機関ではありません。議員もまた、一人、一人町民から負託を受けた完全に独立した意思決定機関であります。

だからこそ、必要なときには、必要な修正を求め、責任ある議論を尽くすことが議会の使命であります。

本日の議論は、単なる勝った、負けた、という二元論の問題ではありません。

それは、この町が「持続可能な未来を選ぶのか」それとも「目の前の政策を優先するのか」その分岐点に立つ議論であります。

私は、この町の未来を守る立場から、責任ある財政運営を強く求めるものであります。

そして町長には、本町の将来を見据えた、より持続可能な政策設計を改めて、新年度からの早期の公共事業の発注と、事業予算の復活を検討されることを心から期待するものであります。

この町は、熊牛村時代より幾度も困難を乗り越えてきました。その歴史の上に立ち、私は持続可能な町財政と、産業と福祉が両立するまちづくりを目指す立場として、今後も建設的な提案を続けることをお誓いし、賛成の討論といたします。

反対討論

鈴木 裕美 議員

委員会報告は原案否決すべきものであります。

私は議案第19号、令和8年度一般会計予算案に反対の立場で討論いたします。

昨年12月会計年度任用職員のフルタイム職員の一部をパートタイムに移行させることが明らかになりました。

私はこの問題を今定例会、一般質問でパートタイムに移行することの撤回を求めました。しかし、パートタイムへの移行は業務の見直しによるものとして撤回はしないとの答弁でした

が、根本には厳しい財政のひっ迫からと言わざるを得ません。対象となる職員にとつては、今までフルタイムとして継続してきた生活設計が崩れるのではないのでしょうか。また、他の職員にとつても、いつか自分が同じ立場に置かれるかもしれないという不安を抱えることになりませう。

会計年度任用職員は社会的にも経済的にも弱い立場にあります。弱い立場の方々が切り捨てられることがあってはなりません。

また、労働組合の団体交渉で合意を得たとの答弁でしたが、提案し交渉して決定する形ではなく、決定してからのお知らせになっており、組合側の意見は反映の余地がないとも聞いております。

町職員が不安なく、意欲をもって働ける職場は町民にとつても望ましいことであり、そのためにも形ばかりではない、まじな労使協議が必要と考えます。パートタイムへの移行の撤回を

求め、よつて私は議案第19号、令和8年度一般会計予算に反対し、討論とします。

なお、午前中の傍聴者の一人から声をかけられました。それは職員の給与を削減しては絶対ダメだ、なぜなら町から人がいなくなると言われました。そのことを申し添えておきます。

賛成討論

長尾 式宮 議員

先に、このたび、議案第19号、令和8年度標茶町一般会計予算は厳しい財政状況の中、予算編成に携わった町職員の皆様に対して、敬意を表するところでございます。

改めまして、私は議案第19号、令和8年度標茶町一般会計予算に賛成する立場で討論いたします。

皆さんもご存知のとおり、4月1日までに予算が成立しなければ、小学校、中学校はもちろん、給食、バス、そして役場業務、そして病院も全て止まってしまつことになりませう。本議会で我々議員も新年度予算に対して審議を重ねている中で、様々な意見があることは私も承知しております。そういった中で、当然100%の予算組みかと言われると、議員それぞれの考え方によつて違つたかなというふうなところも存じ上げております。ただ、私も先ほど言ったように、町内の行政サービスが停止してしまうということは、一番不利益を被るのは町民ではないかと感じております。

また、先ほど町長の答弁の中で、これから新年度に向けての契約業務があるという話をしておりました。当然、新年度に向けての契約があるわけですが、それが少しでも遅れてしまつことによつて、春先の事業を予定していた町内企業の皆様の予定も狂つてしまつ。そつなつてしまつと、町内経済にも多大な影響を与えてしまつというふうに想像しております。

ですので、私は議案第19号、令和8年度標茶町一般会計予算に対して、賛成すべきと考えております。

ただ、先ほど議員の間でも、まだまだ議論すべきところがあるというふうに議論も意見も聞いております。

ですので、私としては今予算が成立後、早急に町発注の事業の補正予算を組んでいただいて、町内業者、そして町内経済が安定する方向で標茶町にも動いてほしいということをお願いいたします。議論を終了いたします。

反対討論

類瀬 光信 議員

私は、議案第19号、令和8年度「標茶町一般会計予算」に反対の立場で討論します。

私は、5年前からたびたび令和7年度末に基金が枯渇する可能性を指摘してきましたが、その度に否定されていきます。その間も町長の公約にも総合計画のよ

な町の方針にもないいくつかの施策や事業が、十分な議論も町民への説明もないまま進められてきました。

そして、それらの施策や事業が町民のためになったかどうかの検証も十分に行われないまま、財政ひっ迫を理由に行政サービスの削減や社会基盤の維持が縮小されようとしています。中でも、土木建設業に関する事業発注の大幅な削減は、関連業種にも雇用と事業継続の不安といった深刻な影響が懸念されます。また、業務の見直しという名のものと、非正規雇用の町職員の一部に対して給与削減につながる契約変更が行われようとしています。そもそも非正規雇用の町職員は、官製ワーキングプアともいえるような経済的に弱い立場にあり、実質的な給与削減によって生活基盤が崩壊する可能性があります。今日の財政ひっ迫は、財政運営の甘さが招いた側面が少なからずあり、その「甘さの代償」を町民や職員に課す

のであれば、まずは説明責任を果たすべきです。限られた財源をもとに予算を編成した職員の努力には心から敬意を表しますが、果たして聖域なき見直しが行われたと言えるでしょうか。あと少し、もう少し工夫する勇気をふり絞って土木建設業の仕事を確保し、非正規雇用の町職員が安心して暮らせるよう速やかに予算を再編成していただくよう提案して、私の反対討論とします。

賛成討論

松下 哲也 議員

私はただ今議題となっている議案第19号、令和8年度一般会計予算案をはじめ各会計予算案について賛成の立場から討論を行います。本予算は厳しい財政環境の中にあっても住民生活の安全、安心の確保、福祉や教育の充実など本町の持続的な発展を見据えた編成がされたと理解致します。標茶町行財政推進計画を立

て、それに基づいて事務事業の見直しを進め財政構造のあるべき姿を追求し持続可能な財政運営を目指していくとの町政執行方針が述べられている。町民の生活は日々送られています。行政として住民が安心して安全な生活を送れる環境を作っていくことが最大の使命であると思います。本予算を成立させ4月からの町民の生活に大きな不安を与えることは避けなければなりません。

私は本予算に賛成致しますが、人口がピーク時より半減している状況で事業を見直さず、事業が延々として継続しているという事実があります。私も何度か質問しておりますが、令和8年度中には事業の見直しを強力に推し進め検討して頂く事を申し添えて賛成討論と致します。

反対討論

深見 迪 議員

私は令和8年度新年度一

般会計予算案第19号に反対の立場で討論いたします。町長は執行方針の中で、「標茶町行財政改革推進計画・2年目の今年はより具体的に町民のみな様と議論しながら・・・」と述べました。また、「このまちと人が持つ無限の可能性を引き出し、多くの町民の英知を結集して・・・町民のみ様と共に創りあげる・・・」と述べました。しかし、このことこそ、困難な状況、財政のひっ迫の前に行うべきだったと思います。

貯金を使い果たす前に、広く町民とひざを突き合わせ、町民の知恵や力を頼りにしたまちづくりを進めるべきではなかったでしょうか。訳が分からないまま、町民、業者、働く人たちに痛みを押し付けた予算になってはいないでしょうか。

この間私は幾度となく大きな事業を行う前に町民の声を聞くことや懇談会さらにはアンケートの実施を議会で求めてきましたが、こ